

6-2 事業活動報告交流会

本協会では、全国の大学関係者に公益目的事業について理解の普及を拡大するため、事業活動報告交流会を12月6日、オンラインで実施し、40大学7賛助会員の99名が参加した。

アンケート結果では、35名(教員14名、職員21名、賛助会員2名)全員から、「参考になった」34名(97%)、「参考にならなかった」1名(3%)との評価であった。開催結果は、第42回臨時総会(令和7年3月28日)に報告した。以下にアンケートの記述について、特徴的な内容を報告する。

1. 参考になった

<大学教員>

- ① 冒頭の「学生が実感する学びの質保証を考える」は特に参考になりました。(他1件)
- ② 大学改革の具体的なヒントが効率的に得られるので、たいへんありがたいと思っています。
- ③ IRや大学DX、ChatGPTに関する各大学の取組みは大変参考となりました。学内でも共有していきたいと思います。
- ④ 現在生成AIについて勉強をしているところでしたので、今回の報告交流会はとても勉強になりました。
- ⑤ 生成AI活用について情報を得たいと考えて参加させていただきました。事例などを拝聴し、理系分野と文系分野(あるいは分野ではなく理解力)の差を感じました。配信資料など活用させていただき、学ぼうと考えております。
- ⑥ 私情協が来年6月で無くなることを聞いて、少子化のご時世とはいえ大変ショックでした。また、本学は加盟校ではありませんでしたが、過去に「ICT利用による教育改善研究発表会」で発表させていただいたこともあり、他大学の取組みを聞く機会がなくなることを大変残念に思います。
- ⑦ 事業活動報告交流会に参加して、多くの講習会や発表会を主催されていたことを知りました。参加したかったものもありました。私立大学情報教育協会は解散されるとのことですが、Webページもなくなるのでしょうか。Webの記事や論文を引用したいときは、どうすればよいのでしょうか。解散前にホームページに詳細を掲載していただければありがたいです。

<事務職員>

- ① 初めて参加しましたが、かなり具体的に私立大学に必要な課題やソリューションについて検討されてきたのだなと思いました。提示された資料を今後の参考に使用させていただきます。
- ② 実際に大学内で検討している内容であり、他大学の例なども知ることができる有意義な交流会でした。
- ③ この度、初めて参加させていただきました。これまでの活動で一定の役割を果たされたとのこと、また、来年6月をもって完全撤退されとのこと、大変お疲れさまでした。提供いただきました資料はどれも興味深く、また、大学として検討すべき点が多くあると考えております。本学学長にも同日すぐに報告しました。これからの大学運営、教学支援に活用させていただきます。
- ④ とても参考になる報告交流会でした。今回で最後となるのがとても寂しく思います。
- ⑤ 初参加ですが、様々な研究会の活動を聞くことができました。特に気になったのは文科省のデータサイエンスAI教育の各大学の実態を聞くことができました。
- ⑥ 学修ポートフォリオについて導入を検討中です。基本的な考え方や導入のメリット・デメリットが分かってよかったです。
- ⑦ 学びの質保証にかかる各大学の取り組み事例の紹介は参考になった。教学組織だけでなく、進路部門やカウンセリング部門、産学連携部門等が連携して、修学支援会議を組織した支援や学生参加型FDの実施など、興味深い情報が多く含まれていた。また、生成AIの活用についても、他大学の取り組みを含め大いに参考になったが、学生や教職員が「活用ありき」で学内のルールの整備や活用モデルを想定した対応が今後求められると実感した。

- ⑧ 私たち事務職員も学修者ファーストの制度を作っていけるよう、時代の流れに合わせて取り組みをしていかなければいけないと思いました。
- ⑨ 大変有意義な情報を提供していただき、ありがとうございました。

2. 参考にならなかった

<事務職員>

事業活動報告は私情協事務局の方のみではなく、各事業活動の委員長から詳細な報告をしていただいたほうが、大学で抱えている諸問題解決によりフィットするのではないかと思います。

令和 6 年度事業活動報告交流会開催要項

日 程：令和 6 年 12 月 6 日(金) 13：30～17：00

会 場：アルカディア市ケ谷（東京、私学会館）から Zoom 配信

1. 会長挨拶（向殿 政男氏）
2. 情報提供：「学生が実感する学びの質保証を考える」
（井端事務局長）
3. 事業別報告(向殿会長、井端事務局長で説明)
 - (1) 教育・学修方法の改善に向けた活動
 - ・ 問題発見・解決型教育等(PBL)の研究
（分野連携アクティブ・ラーニング対話集会、分野横断フォーラム型実験授業、思考力等の外部点検評価・助言モデル構想）
 - (2) 情報教育の改善充実に関する活動
（情報活用教育コンソーシアムの活動、産学連携共創活動「SDGs サイバーフォーラムコモンズ構想」の実験、データサイエンス・AI 教育のプラットフォーム）
 - (3) 大学連携・産学連携による教育支援等の振興・推進活動
 - ・ 授業目的公衆送信補償金制度に対する課題提起
 - ・ 産学連携支援事業(大学教員の企業研修、産学連携人材ニーズ交流会)
 - (4) 情報環境の整備充実に向けた活動
 - ・ 情報化関係補助金予算の要望と概算要求
 - ・ 私立大学情報化投資額調査
 - ・ 学修ポートフォリオシステムの参考指針
 - (5) 教職員の職能開発の活動
 - ・ ICT 利用教育改善研究発表会
 - ・ 教育イノベーション大会
 - ・ 短期大学教育改革 ICT 戦略会議
 - ・ 大学職員情報化研究講習会
 - ・ 大学情報セキュリティ研究講習会
 - ・ FD 情報通信技術研究講習会など
 - (6) 参加者との意見交流

以上の取組みをもって、事業活動報告交流会の事業は終了した。